

進路だより第4号：令和2年10月21日発行

佐賀県立唐津東高等学校 進路指導部
〒847-0028 佐賀県唐津市鏡新開1番地 TEL 0955-77-1984

羅 針 ～高く望み、強く走れ！～

「教育実習生、大学の紹介」

9月から10月にかけて、本校の10名の先輩方が教師を目指して教育実習に励まれました。今回はその先輩たちに大学の学部・学科を紹介してもらっています。「後輩に向けて今後の高校生活へのアドバイスも入れて熱く語ってください」との要望に応じて書いていただいたものです。先輩方が大学でどのような勉強をしているのか、皆さんの進路を決める参考のひとつにしてください。（実習生のお名前は省略しています。）



【文系学部】

九州大学 教育学部

私は九州大学教育学部に所属しています。私の学部は教育学部ではありますが、2年時に教育行政系と、心理学系を選択し、その後希望のコースに所属することができます。教育学系には、国際教育文化コースと教育社会計画コースの2つがあり、教育心理学系には人間行動コース、心理臨床コースの2つがあります。

もちろん教師になる資格を取ることも可能ですが、教職課程を別で履修し、他の学部の単位も取る必要があります。例えば私が目指している英語教師になるには、文学部の授業をとり英語学の勉強をするということです。

教育学部は50人という少ない人数であり、その中でも教職をとっている人は8人です。言い換えれば九大の教育学部は教育に関する幅広い勉強ができるということです。私はその中でも、教育デザイン論という研究室に所属していて、社会教育や福祉、コミュニティづくりなどを学んでいます。その中で研究室独自のプロジェクトである熊本県の杖立温泉のまちづくりに関わっていて、地元の方たち一緒に朝市をしたり、より多くの人に知ってもらえるような広報の方法を考えたりしています。まちづくりに関わる中で、人との関わり合いや地域性を学ぶことができるので、教師になってもこの経験を元に多くの生徒と深く関われるのではないかと感じています。教育系全般に携わりたいという人には刺激的な学習ができると思うのでおすすめです！

山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科

山口県立大学は、国際文化学部・社会福祉学部・看護栄養学部の3つの学部と5つの学科からなる、そこまで規模は大きくない公立大学です。文化創造学科では、日本の地域文化・文学・伝統芸能などについて学べる「日本文化コース」と、グラフィック・プロダクト・メディア・ファッションなどについて学べる「デザイン創造コース」が同じ学科内にあり、両分野について詳しく知識を得ることができます。中学・高校国語の一種教員免許や司書教諭の資格も取得することができます。学科の人数は50人前後と小規模で研修室（ゼミ）の定員も6名までと、一人ひとりに目が届く環境で教授の方々と学生の距離がとても近いことも特色の一つです。

私がこの大学を選んだ理由は、国語の先生になる勉強も、メディアに関する学びも一緒にできることがすごく魅力的に感じたからです。中学生の頃から国語の先生になりたいと思っていましたが、高校で放送部に入り映像作品を制作する楽しさを知りました。文化創造学科はその2つの興味と合致していたのです。

実際に大学では、日本文化に関する面白い講義が多くあり、現在はくずし字というものを読めるように練習しています。また、映像に関する講義もいくつかあり、現場で働かれている方が直々に講義や演習をして下さるものもあり、映像や画像編集ソフトを使って作品を作りました。他にも地域の文化を見つめることで佐賀県の文化の素晴らしさにも気づくことができ、加えて芸術・ファッションなどのそれまで知らなかった分野の知識も得ることができ、大学に入学したことで自身の視野が広まったと感じています。

私は「国語の先生になりたい」「映像について学びたい」という2つの観点から大学選びをしました。みなさんも今の時間で、自分の興味・関心があること、好きなもの、なりたいものを見つめてみてください。興味と合致した大学・進路先がきっとあるはずです。そしてその進路を叶えるため、選択肢を広げるために、勉強を今しっかり取り組んでほしいと思います。



専修大学 文学部 日本語学科

私は、大学で日本語について学んでいます。日本語といっても、高校までの現代文のような授業ではなく、日本語の、音、文字、語、文、文章などの細かい部分や、歴史の中で日本語がどのように変化してきたか（日本語史）、日本語を外国人にどのように教えるか（日本語教育）、敬語や若者言葉、方言など、社会の中で日本語がどのように使われているか（社会言語学）、コンピュータで日本語をどのように分析するか（コーパス日本語学・日本語情報処理）などを学習、研究しています。私が入学したときは「文学部日本語学科」でしたが、今年から学部変更があり「国際コミュニケーション学部 日本語学科」になり、キャンパスも今年できた新設のところになるのでとてもきれいです。

この学科では、中高の国語の教員免許、司書、司書教諭、学芸員の資格が取得できます。教育学部ではないので教職課程というものを別にとって資格取得を目指します。教職課程の先生方は、とても親切で手厚い指導をしてくださいます。「日本語学科」なので将来、外国人に日本語を教える日本語教師を目指している人も多いです。

また、大学には短期から長期の留学制度がありますが、専修大学には寮内留学プログラムというものがあります。寮内留学プログラムとは、短期留学生の滞在する「専修大学国際交流会館」というところにレジデントパートナーとして約4か月～半年間入寮し、留学生との協働生活を通じて異文化理解や国際コミュニケーション力を養うことを目的としたグローバル人材育成プログラムです。プログラム期間中は、English Camp（英語研修）や異文化間トレーニングも予定され、大学に通いながら英語力やコミュニケーション力、異文化理解力の向上に取り組みます。

大学ではこれまでに経験したことがないことをたくさん経験できるので、大学生活での体験は将来に大きく影響すると思います。学部学科だけでなく、その大学がどこにあるのか、規模はどれくらいかなどでも、大学生活は大きく変わってくるので、いろんな大学を見て自分に合った進路選択をしてほしいと思います。応援しています。



【理系学部】

九州大学 理学部 数学科

私は今の皆さんと同じように唐津東中学校・高等学校で六年間過ごし、九州大学理学部数学科へと進学しました。中学時の数学の先生が九州大学出身の方で、今思えばその頃から漠然とそこに行きたいという気持ちがあったのだと思います。

九州大学の一年生は基幹教育という枠組みになります。これは学部学科関係なく同じ授業を受けるということで、様々な学部の学生同士で意見交換や交流等ができ、良い経験になります。

そして二年生から専攻科目の勉強中心となります。私の専攻は数学ですが、今皆さんが勉強している数学とは大きく異なります。高校までの数学は「式を立て計算をし、値を求める」と言った感じですが、大学の数学は「論理の追究」です。わかりやすく言うと、証明問題をずっとこなしているようなものです。その大学数学は大きく分けて、幾何学・代数学・解析学の3つに分かれます。九州大学には様々な分野の専門家の先生方がおられるので自分の興味のある分野を選択でき、私は統計学というものを3年生の後期から専攻しています。統計学は世の中のありとあらゆるデータを用いて分析するもので、経営戦略やマーケティング戦略、機械学習(AIなど)に応用されています。他の学問も意外なところで応用されているので、自分が今学習していることがどのように使われているのか調べてみると面白いかもしれません。数学は見えない力となってみなさんの生活に役立っているのです。

さて私自身の数学の話に戻りますが、ゼミは少人数で行い、海外の統計学の教科書を使って勉強しています。ゼミは担当を決めて期日までに準備をし、他の学生や教授の前で発表をするといった感じです。それだけ聞くと難易度が高そうに思えますが、理解が難しいところは皆で共有し考えて進める形式ですので大丈夫です。このような経験は社会にでても生かせるものなので、自身の実力向上のために日々頑張っています。

みなさんの中でも九州大学を目指している生徒がいると思います。研究施設や専門家の先生方、同じ意識を持つ同期の友人など、とても充実した環境が用意されています。環境が人をつくり、人が環境をつくります。今の皆さんは、将来の自身の環境をつくっているのです。人によって何が正しいかの基準は違うと思いますが、それぞれの目標に向かって日々頑張ります。私も負けずに頑張ります。

最後になりますが、中学・高校生活は一度きりです。私も友達や先生方のおかげでとても充実した日々を送りました。確かに勉強も大事だと思いますが、時には別のことに目を向けてみることも必要だと思います。卒業するときに楽しかったと心から言える時間を今過ごしてください。みなさんのことを応援しています。

熊本大学 理学部理学科 数学コース

理学に興味がある人はもちろんですが、将来の夢が定まっていない人にも熊本大学の理学部はおすすめです。私自身高校生の時、将来就きたい職業が決まっておらず、進学する大学や学部を考える上でとても悩んでいました。熊本大学の理学部は化学、生物、物理、地学、数学の5つのコースがあり、3年生に進級するときにコースに分かれるので、どのコースにするのか考える時間が十分にあります。また、高校の時に持っていたそれぞれの科目のイメージと大学で学ぶそれぞれの科目の内容にギャップがある人がほとんどで、熊本大学ではコースを決める前にどのような内容を学習するのかを知ることができるので、自分が本当に興味を持つ分野について研究することができます。

私は大学で超幾何関数という関数について解析接続、積分表示、微分方程式という3つの視点を採用した理論を学んでいます。高校では馴染みのない関数ですが、高校数学が基本となっているので数学科に興味がある人は特に、基礎固めとして勉強しておくと思いいます。

また、大学では講義以外に楽しいことがサークル活動や部活動、実行委員会などたくさんあり、長期休暇は2か月ほどあるのでいろいろなことに挑戦できます。私は学園祭の実行委員会に所属し、企画を担当していました。学園祭が無事に終わった時に今までで一番達成感を味わうことができました。充実したキャンパスライフを熊本大学で過ごしてみたいでしょうか。

佐賀大学 理工学部 機能物質化学科

私は、佐賀大学の理工学部機能物質化学科で錯体化学を専門に研究をしながら教員を目指し勉学に努めています。研究内容としては、植物が光合成をおこなうとき水を酸化して酸素を合成する際に用いられる触媒（酸素発生中心）のモデルの合成です。酸素の合成として考えられるのは水の電気分解ですが、電気を用いるためエネルギーを多く消費します。しかし植物の光合成では触媒を介することで少ないエネルギーで酸素を合成できるため、循環型社会の観点から注目されています。私はその触媒である酸素発生中心の構造のモデル化を目指し、その合成法の確立の研究を行っています。

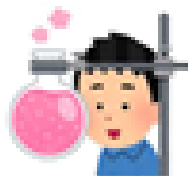
現在のカリキュラムについて簡単に説明します。私は機能物質化学科に在籍していますが、

1年生の間は理工学部生として全員が基礎知識を学び、2年生からは自分の学科に入り、専門的な知識を学んでいくという形になります。化学科では化学の内容はもちろん、科学英語やインターフェイスという理工系以外の内容の授業も取ることになります。授業は基本的にテストの点数による評価になるため、日ごろの勉強が重要になります。また基礎実験の授業が二コマずつ週二回あり、器具の使い方や実験の進め方、測定方法などを学びます。そして4年生になると研究室に入り、卒業研究として各々割り振られたテーマについての研究を行います。

化学科では、中学理科と高校化学の教員免許取得が可能で、卒業単位とは別に教職の単位を取る必要があります。そのため「とりあえず教員免許を取りたい」という方にはお勧めしません。本気で教員を目指したいという気持ちがなければ苦勞すると思います。

今のうちにやっておくこととして、あくまで私の経験からにはなりますが、もちろん勉強が挙げられます。文理問わず、今学んでいることは大学での内容の基礎となります。例として化学科で読まなければならない論文は、ほとんどが英語で書かれているので英語の知識を身につけていることが必要です。大学に入った後に今までのことを学びなおす時間はなかなか取れません。今のうちに高校の内容をしっかりと身につけておくことをお勧めします。また行きたい大学が決まっている人とそうでない人がいると思いますが、行きたい大学についてどのような学部があり、どのようなことを学ぶことができるのかということや、その大学の良さなどをしっかり調べておいてください。入学した後に「ここは違った」となると非常にもったいないです。貴重な4年間を過ごす場所になるので、十分に調べたうえで志望校選びをしてみてください。

最後に、皆さんが納得のいく進路に進み、よりよい時間が過ごせることを祈っています。



高知工科大学 環境理工学群 マテリアル工学専攻

私は、高知工科大学環境理工学群に進学し、中学校教員を目指して勉強しています。高知工科大学の主な特徴は2つあります。1つ目はクォータ制になっており、1年で4つのクォータに分かれていることです。グローバル化への対応として、一般的な海外の大学と学期の区切りを合わせることで、学生の留学、留学生の受け入れ増加につなげようという考えです。クォータ制の場合、1科目を週2のペースで学び、約8週間で終わります。同時に学ぶ科目が少なく、授業の間が空かないので、覚えたことが頭に定着しやすく、また学期ごとの成績に応じて、こまめに履修登録が変更できるというメリットもあります。

2つ目は、全科目選択制であり必修科目がないことです。自分が興味を持った科目を将来の目標に応じて自由に選択し、一人ひとりに合ったオリジナルのカリキュラムを作ることが可能です。

教育課程も充実しており、中学校と高校の教員免許を取得することができます。私は、中学校、高校の二つの教員免許の取得を目指しており、教員採用試験では中学理科を受験しました。大学の授業で専門的な理科について学び、現在は卒論に向けて研究も行ってい

ます。大学の専門的な理科の知識が、教員の勉強にも役立つので、理科の教員を目指す方はより科学的な知見が広がります。

高知工科大学の図書館は24時間開いており、読書や勉強を好きな時間に好きなだけ利用することができます。私は実際、教員採用試験に向けて毎日夜遅くまで利用していました。また、大学の教授も面倒見が良く、困ったことがあればすぐにアドバイスしてくれます。高知工科大学は学習環境としてもとても素晴らしい場所であると考えますので、教員を目指す人、就活を行う人には是非おすすめです。

最後になりますが、自分に合った大学を目指すことが本当に大切です。将来、自分がどのようなになりたいかをしっかり考えてください。有意義で楽しい大学生活を送るためにも、中学・高校時代は、勉強を頑張り、自分の可能性を広げていってください。応援しています。

高知工科大学 環境理工学群 環境数理専攻

私は大学で、専門的な化学や物理学、数学を勉強しています。その中でも私は、数学の教員を目指すために、微分積分学や線形代数学、幾何学といったより専門的な数学を勉強しています。理系の専門分野となると、内容がとても複雑になります。すべての専門分野が高校での知識が前提となっており、特に数学は大学数学だけでなく、化学や物理学、そのほかにも幅広い分野で使われます。高校でしっかりと基盤を固めておくことを強くお勧めします。

ここまで専門分野について触れてきましたが、ここからは教職課程について触れたいと思います。私は大学に進学する際「数学の教員免許が取れる大学」という観点で大学を選びました。正直「高知工科大学」という大学はそれまで聞いたことがない大学でした。しかし、高知工科大学では教職課程が非常に充実しており、教員養成にとっても力を入れています。私は大学で「中学校数学」と「高校数学」の免許を取得しますが、ほかにも「理科・工業・情報・社会・公民」の教員免許を取得することが可能です。規模が小さい大学なので、教育学などだけでなく、授業や生徒指導についても熱心に教えていただけます。理系の大学で専門分野を勉強しながら教員を目指したい人は、ぜひ高知工科大学を受験してみたいかがでしょうか。



【体育・芸術系学部】

九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科 教職コース

みなさん「九州共立大学」って初耳じゃないですか？ 私は九州共立大学の存在を知ったのは高2の夏でした。ではなぜ私は九州共立大学へ進学したのか。決め手となるポイントは3つありました。1つ目はスポーツについて学び、競技も続けたかったから。2つ目は教員免許が取得できるから。共立大では、小学校教員免許はもちろん、スポーツ学部では中・高の保健体育、経済学部では中学社会、高校の地歴・公民の免許が取得できます。そして3つ目は学力特待生制度があるから。私は学費が高いですが、学力特待生として入学するとだい

ぶ安くなります。ぜひ調べてみてください。

そしていざ入学。楽しいです。充実した施設に、様々な分野に精通された先生方。場所は北九州市八幡西区折尾という程よい都会感。とても有意義な大学生活を送っております。

皆さん、今の生活は充実していますか？ 人生には数多くの選択肢が次々と現れます。朝起きて最初に何するかも人それぞれ。私はお風呂に入ると、まず左腕を洗います。また、今日の晩ごはんはなににしようかなー、なんて考えるのは何気ない日常の中にある小さな幸せです。でもその選択を決断するのは他でもない、あなた自身です。あなただけの一度きりの人生、楽しまないと損でしょう。私のつたない文章が、これから何をするのかを自分で考えてみる、いい「きっかけ」になってくれたら嬉しいです。

武蔵野音楽大学 音楽学部 演奏学科 器楽コース 管楽器専修 フルート専攻

私が進学した学部では、演奏家や指導者として文化芸術の発展に貢献できる人材の育成を目的としてカリキュラムが組まれています。高度な演奏技術と豊かな表現力を身に付ける1対1のレッスンのほか、音楽家として必要な基礎能力を培う「ソルフェージュ」「和声」「西洋音楽史」等を必修科目としています。管弦楽やウィンドアンサンブル（吹奏楽）、管楽合奏などの合奏授業が充実しており、それらの発表の機会として学内外のホールで演奏会を行っています。ちなみに私は、今年度のウィンドアンサンブルのメンバーに選拔され、12月に東京芸術劇場で開催される演奏会に向けて練習を進めているところです。学修の成果を人前で発表する機会が多く、実践的な経験を積むことができるのが本学の大きな特徴だと思います。

武蔵野音楽大学では、全ての学科・コースにおいて中学校と高校の教員免許を取得することが可能です。明星大学通信教育部のスクーリングや通信教育を受講することで、小学校の教員免許も取得する道が開けます。教員免許のほかに、学芸員資格を取得することもできます。

音楽大学へ進学するためには、楽典・新曲視唱・聴音といった特殊な試験科目を受験する必要があります。音楽を専門に学んでみたいという意思がある方は早めに対策を始めることをおすすめします。音楽の先生や進路指導部の先生に相談してみてください。

一般的な意見として、音楽大学に進学してもその後の就職が大変だ、どうせプロになれるのは一握りの人たちだけだから...といったものがあります。しかし、私はこの進学に後悔をしていません。学びたいと思ったことに全力で取り組んできた自信があるからです。大学は学問を修める場であり、就職につなげるためだけの場ではないと私は考えています。みなさんには、高校生活を通して自分が本当に興味をもてるものや学びたいことは何なのかを見つけてほしいと思います。

※保護者の皆様へ

ご質問・ご相談等ございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。